

第31回東海高等学校新人大会

女子1回戦

試合日	2018/2/10
会場	パークアリーナ小牧
コート	C
開始時間	11:00

TEAM A

市立沼津	25	-	14	
静岡3位	13	-	10	
	10	-	13	57
	7	-	20	
		OT		

県立いなべ総合 三重2位

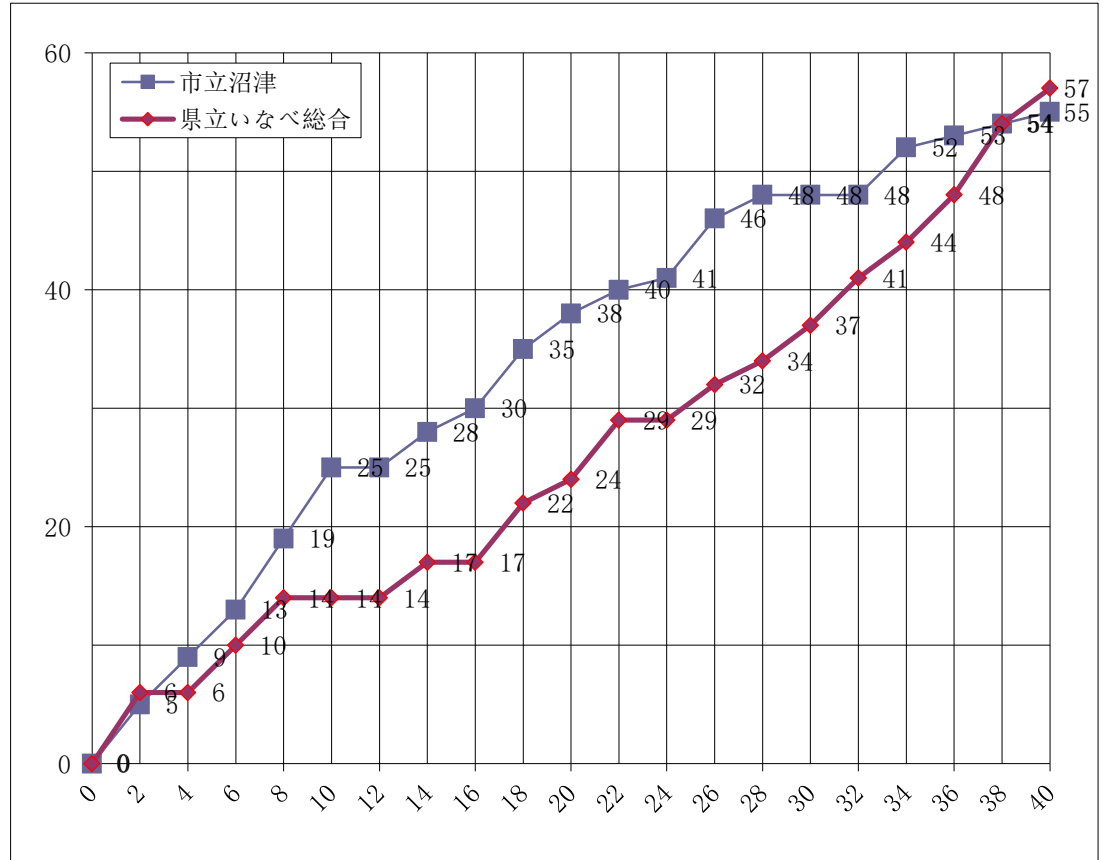
TEAM A 市立沼津 静岡3位

No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	上柳 穂夏	7	1	2	0	3
5	*	杉浦 雅	21	4	3	3	0
6	*	遠藤 真帆	12	0	3	6	1
7		古賀 理紗	2	0	1	0	0
8		小高 里奈	0	0	0	0	0
9		松井 愛空	-	-	-	-	-
10		佐々木 愛佳	-	-	-	-	-
11	*	進藤 いつみ	2	0	1	0	2
12		飯岡 志保	-	-	-	-	-
13		勝又 優菜	-	-	-	-	-
14	*	秋山 海	11	1	3	2	4
15							
16							
17							
18							
TEAM/COACH			/	/	/	/	-
TOTAL			55	6	13	11	10

TEAM B 県立いなべ総合 三重2位

No	S	選手名	PTS	3P	2P	FT	F
4	*	伊藤 里紗	4	0	2	0	4
5	*	佐野 由依	2	0	1	0	4
6	*	奥村 優花	13	3	2	0	1
7		樋口 沙希	0	0	0	0	1
8	*	大村 彩子	8	0	3	2	1
9		中村 明日香	6	0	3	0	0
10		掛田 夢	-	-	-	-	-
11		矢幡 奏依	-	-	-	-	-
12		小川 桃佳	-	-	-	-	-
13		橋本 亜耶	14	0	6	2	4
14		宮本 美紗樹	0	0	0	0	0
15		渥美 真衣	-	-	-	-	-
16		中村 茉央	-	-	-	-	-
17	*	森下 媛花	10	0	4	2	2
18		奥岡 胡美	-	-	-	-	-
TEAM/COACH			/	/	/	/	-
TOTAL			57	3	21	6	17

【 得点経過 】



【 戦評 】

1P両チームともにハーフコートマンツースタート、市立沼津#14の開始早々鋭いドライブにたまたまいなべ総合がファウルをしてしまう、フリースローのチャンスを確実に2本決める。これがこのゲームのオープニングショットとなる。お互い厳しいは、主導権を相手に譲らない、いなべ総合が、ゾーンプレスゾーンを仕掛けて連続ポイントを取ったが、市立沼津は#14#5の3Pで応戦。市立沼津はフリースロー後、オールコートマンツースタートで仕掛けた連続ポイントで主導権をつかんだ。25-14の市立沼津のリードで1Pを終えた。

2P両チームともにハーフコートマンツースタート。お互いリズムに乗れず、2分間スコアが動かない。均衡を破ったのは市立沼津#5の3Pシュートであったが、この後もお互いなかなか得点を重ねることができない。いなべ総合#6が3Pを決めるが、5分間この2本のシュートしか入らない。2P残り4分を過ぎると、いなべ総合#13の連続ポイントで得点を縮める。これに、市立沼津#5の個人技で応戦。2P失点を抑えたいいなべ総合であったが、得点が奪えず、38-24と市立沼津が3点のリードを広げる展開となった。

3P開始からいなべ総合がスピードのあるオフェンスを展開する。市立沼津は慌てずにポストアップを繰り返し、いなべ総合のファウルを誘発する。次第に、ペイントエリアでの攻防が激しくなる。いなべ総合はオフェンスリバウンドを量産し、市立沼津は#6が安定した活躍を見せる。互いに一歩も譲らない展開となった。3P終了時には、48-37といなべ総合が3点縮める結果となった。

4P開始早々いなべ総合のスピードあるオフェンスが展開される。#17がインサイドで得点すれば、ルーズボールから#9がジャンプシュートを決める。得点差を一気に6点まで縮めると、ここで市立沼津がたまたまタイムアウトをとる。タイムアウト後、立て直した市立沼津が連続得点で得点差を10点へと広げる。それでも食い下がるいなべ総合は、ポイントを入れ返すと、ゾーンプレスゾーンで、残り2分ついに同点に追いつく。ここから互いに入れあう展開となり、いなべ総合が2点リードしたところで、市立沼津はタイムアウトを要求する。残り39秒の攻防が始まると、市立沼津のオフェンスは成立せず、いなべ総合ボールに、残り28秒ここで、いなべ総合がタイムアウトをとり、サイドからのオフェンスとなる。いなべ総合は、24秒を使い切る作戦をとり、シュートまで行くが得点とはならない。しかし、残り2.8秒まで粘った。ここで、いなべ総合がファウルしたため、市立沼津は最後のオフェンスを、サイドからのオフェンスに託す。こを、いなべ総合が厳しいディフェンスで、苦しいシュートを打たせ2点のリードを守りきった。東海大会1回戦から、見応えのある激戦であった。

記入者 堀 洋嘉